

編輯部報情閣内

週報

號日七月六

第三八號

昭和十四年六月七日發
昭和十四年六月七日發

(每週一四水曜發行)



五錢

外蒙軍の狀況

支那事變國債の常識

香港貿易の變遷

物動と生産力擴充計畫

露光量違いにより重複撮影

國民精神總動員綱領(三)
 各々その業務に精勵し
 奉公の誠を
 效さむことを期す

目次 (五月廿七日)

- 物産計画と 生産力充實計画について 企画院
- 外匯軍の状況 陸軍省情報部
- 支那事情 國務院 支那省理財局
- 香港貿易の進展 外務省情報部
- 最近公布の法令 内閣官房秘書課
- 本誌に休載します

五月廿七日(土) (二週目)

▲ハルビン商務長官、申立法政部を請負し...
 ▲陸軍省、各加入兵士對する...
 ▲陸軍省、五月廿七日、陸軍省...
 ▲陸軍省、五月廿七日、陸軍省...
 ▲陸軍省、五月廿七日、陸軍省...

五月廿九日(月)

▲陸軍省、五月廿九日、陸軍省...
 ▲陸軍省、五月廿九日、陸軍省...
 ▲陸軍省、五月廿九日、陸軍省...

過間日誌

▲陸軍省、五月廿九日、陸軍省...
 ▲陸軍省、五月廿九日、陸軍省...
 ▲陸軍省、五月廿九日、陸軍省...

今週の注目

▲陸軍省、五月廿九日、陸軍省...
 ▲陸軍省、五月廿九日、陸軍省...



露光量違いにより重複撮影

目次 (六月七日 第三八六號)

物動計畫と
生産力擴充計畫について

企 畫 院 三

外蒙軍の状況 陸軍省情報部 二

支那事變國債の常識 大藏省理財局 一八

事變の成果 二六
遊軍の成果 二七

— 國際時事解説 —

香港貿易の變遷 外務省情報部 三

最近公布の法令 内閣官房總務課 二六

お断り：「新東亞讀本」は都合により
本號は休載します。

五月廿七日(土) 【前週追加】

▼ハル濱國務長官、中立法改正案を議會に提出す。▼野田理事會、各加入國に對する個別の對支援助報告と對日總援助額の削減を提議す。

五月廿八日(日)

▼關東軍司令部、我が飛行隊は五月二十日以來總獲せるソ聯機十機を撃墜したと發表す。▼モリヤ、贊、イン、國務院事務課の火任を果し羽田に歸還。▼東輝社上院式。

五月廿九日(月)

▼大木參謀長、事變の綜合態を發表、(米、露、英)の動向を分析す。▼ノモンハ、ン附近で廿九日越境。▼津浦、瀋陽線初取引平均掛目漲松七七掛、瀋津黄浦七七、四掛、白濱七七、四掛で十數年來の高値を示す。▼工場事業場技能者養成委員會官制施行す。

五月三十日(火)

▼陸軍省情報部、工務局に近日テロの實態を通告す。

五月卅一日(水)

▼廈門に新部隊上陸。▼事變以來我が海軍航空隊の撃墜した敵機は、一、五六一機、機分保留は合計三、五〇二機(大木參謀長報告)

週間日誌

部發表す。▼今夏「興亞青年勤勞報」を組織し、學生青年一萬餘人を大膽に派遣する計畫の大體決す。▼ソ聯最高蘇聯でモロトフ外務人民委員、對華援助と外蒙問題を強調。▼新滿洲貿易協定調印す。

六月一日(木)

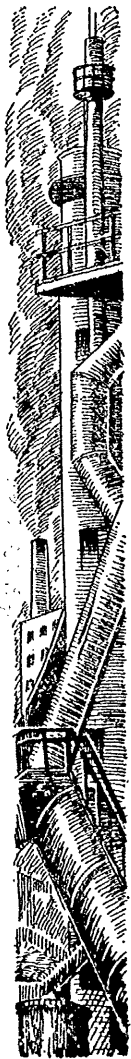
▼軍艦預備隊水式、横須賀で行はる。▼大日本債團軍入會、債團軍人の精神を鼓舞し、招集軍人五團を制定した。▼帝國政府、スロヴァキア獨立を承認、滿洲國と同様承認した。▼聖都下イン新聞記者團歸國。▼航空法施行記念日に際し、逓信大臣より民間航空功勞者十名に勲章を贈る。▼再製「A、粉」の供給開始見込さる。

六月二日(金)

▼砲火、ニューヨークに到着。▼外蒙軍を國境外に退却し敵情を監視中。▼外蒙軍司令部より發表さる。▼我が艦艇の一部は温州附近に進入す。▼敵寇機四ヶ機、日領南滿洲國境を侵犯す。▼日領南滿洲國境の兵力に關する取極め、外務省で調印さる。▼國民精神總動員中央聯盟新編制さる。

今週の暦

▼十月 時の記念日 拓務省新設記念日。▼十一月 入梅。



物動計畫と生産力擴充計畫について

企 畫 院

一 序 説

今日のやうに、科學の進歩によつて兵器が異常に發達すると共に戰國の方法も複雑となり且つ大規模となつてくると、これがために必要な軍需資材は莫大な量に上るのである。現代の戦争は單なる武力戦ではなくて、國力戦、就中物資戦、經濟戦であると謂はれる所以である。この軍需資材の補給は國內生産を以つてしなければ國防の安全を確保し得ないのは當然であつて、企業院においては夙に生産力の擴充に關する綜合計畫を樹立し、既に開議の決定を経て、重要國策として之が遂行に努力してゐる次第である。

即ち軍備の物的基礎をなす資源は極力之を帝國勢力國內の開発に俟ち、以つて有事の際外國依存の必要なからしむることを理想とする。しかし之を極力遂行しても一舉に自給自足に達することは困難であるし、生産擴充を遂行するにもその途中に於いては相當多量の資材を要するから、どうしても相當多額の資材を海外

(2)

より輸入しなければならぬ現状である。而してこの輸入力にも一定の限度があるから外國から輸入した物資と、國內生産のものを通じて、軍需や、生産擴充用資材その他時局上必要な需要に適當に割振るといふ計畫が必要になる。この計畫がいよいよ物資動員計畫である。即ち事變下に於いては巨額の物資の需要があるが、これを賄ふためには生産力擴充を急務とするが、同時に擴充計畫を遂行するための多量の資材はこれを物動計畫によつて確保することを要する。つまりこの二計畫は互ひに密接な關聯を有し、兩々相俟つて戰時經濟の運営は完きを爲るのである。

二 物資動員計畫

物資動員計畫は物資を國家的見地に於いて最も有効に使用することを目的とする。この計畫の概要を説明すれば、軍事上は勿論、生産力の擴充、國民生活の維持等の爲め最も重要と認められる鐵類、非鐵金屬、輕金屬、燃料、化學製品、機械、被服原料、食糧、飼料、輸入雜品等二百數十種の重要物資について、企業院が中心となつて關係各廳と充分緊密なる連絡をとり、需要量の輕重緩急を慎重に検討して、限りある物資を最も有効に使用するやう適當に振り當てて、需要量と供給量との調整を圖つてゐる。即ち供給については國內生産額を以つて骨子とするのであるが、需要に比し不足分は、廢品の回收、在庫品の流用、代用品の使用等により補填する外、最後の手段として外國よりの輸入に依つて之を補ふといふ仕組になつてゐる。

事變下に於ける物資動員の眼目は、軍需資材の供給確保にあることはいふまでもないが、今日のやうに事變も愈々長期建設の段階に入つてくると、物動計畫も亦、單に當面の戦争遂行に必要な物資を調達するばかり

(3)

りでなく、軍備を充實し、生産力を擴充し、輸出貿易を振興する爲めに必要な物資を確保することに努め、更に又事變の長期に亙るに伴ひ、國民生活の維持に必要な物資の供給についても周到な注意を拂はねばならない。換言すれば本計畫は當面の戦争遂行といふ従来の目標から出發して、今日は國力全體の長期建設といふ廣い目標に向つて、發展して來たのであつて、之と共にその内容も亦更に複雑且つ廣汎となり、國策遂行上からいつても、國民生活上からいつても、影響するところの非常に大きなものとなつて來たのである。

従つて本年度の物資動員計畫の編成に當つては、支那事變の目的を達成し、東亞新秩序の建設を行ふと共に、國際新情勢に對處し、國運の進展を圖ることを以つて根本の目標とし、當面の戦争遂行上必要な軍需品を迅速に充足する外、軍備を一層充實し、生産力擴充計畫を實現し、貿易を振興し、滿洲及び支那の開發を促進する等必要な物資を供給し、以つて將來に於ける綜合國力の飛躍的發展の素地を培養することに努めた。之が爲めには他方、一般民需に對して昨年以上の節減を加へると共に、各省及び公共團體の需要も極度に切り詰めることとした。

今回の計畫編成に當つては、次項で述べる生産力擴充計畫に要する物資の供給を重視したことはいふまでもないが、その他の重要事項につき、その概要を述べれば次の通りである。

(一) 輸出の振興其他輸入力の増強

現下の狀況に於いては、時局上必要な物資は國內生産のみでは到底その全部を賄ふことは出來ないので、外國から少からざる物資を輸入するの外はない。しかし何等の對策を講ずることなくこれらの物資をど

しどし輸入したならば、我が國の輸入は激増し貿易の均衡を失して爲替相場を下落せしめ、延いては我が國の經濟界に著るしい混亂を惹起する虞れがあるから、必要な物資を輸入する爲めには、不急不要品の輸入を制限すると共に、輸出貿易の維持伸長を圖つて、輸出入貿易の均衡を保つことが必要である。従つて今日の計畫に於いては、この點を特に重視し、輸出品用原材料の優先確保に努めると共に、努力及び資金の確保その他あらゆる施設を講じて輸出産業の振興を圖ることとした。又輸入原材料を以つて生産する物資は勿論國産品と雖も、極力國內消費を抑制して輸出に向け得べきものは輸出する等積極的に輸出振興を圖ることとした。尙ほ輸入力の増強を圖る爲めには、輸出貿易を振興するの外、不急不要品の輸入制限乃至禁止は勿論、産金を奨励し、又國內に在る金を回収し、或ひは邦人の海外旅行を制限する等の措置を一層徹底的に行ふ方針である。

(二) 滿洲及び支那の開發援助

滿洲及び支那に於ける治安を維持し、資源を開發する爲め必要な物資を供給することは、事變の處理及び東亞新秩序の建設上極めて肝要であるのみならず、我が國生産力の擴充とも密接不可分の關係を持つてゐる。それ故に今次の物資動員計畫の編成に當つては、滿支に對する各種物資の供給確保の爲め、出來る限りの努力を拂つたのである。

(三) 一般民需

前述の如く國防の充實、生産力の擴充、輸出の振興又は滿洲及び支那の開發援助の爲めにも相當巨額の物資を要するのであるが、これ等を限りある物資の供給力内で賄ふためには、一般民需に於いては相當の節

減を免れなかつたのである。但し農業生産力を維持し、國民の保健を保持する等に必要な資材、例へば肥料、醫藥品のやうな物資については、慎重な検討を加へ遺憾なきを期したのである。

(四) 物資割當の區分

物資を各需要に對し最も適切に割當てることは物資動員計畫の樞軸である。そこで本年の計畫に於いては、全需要を軍需の外に官需・生産・擴充用資材・輸出原材料・圓ブロック需要・純民需等に區分し、之に従つて配給を行ふこととした。各需要に對する物資割當の適否はその影響するところ甚大であるので、當局としては凡ゆる資料に基づいて最善の努力を盡し、計畫の正確を期したのである。従つてこれが實施に當つても、計畫編成の趣旨はあくまでも徹底を圖り、計畫上豫定しない方面に物資が流用せられないやうに、最も有効適切な措置を講ずる積りであつて、配給機構の整備、配給實績の調査等にも一段と工夫を凝し物資に依つては切符制、指定配給等の擴大實施をも考慮してゐるのである。

以上の如く本年度の計畫は時局下に於いて最も緊要なる需要に物資を振當てる方針であるから、一般消費は徹底的節約を斷行するは勿論、國策上重要とする各需要に於いても物資の使用を最も經濟的ならしめねばならぬ。又物資の不足を補ふためには、廢品の回収は勿論物資の特別回収の措置をも採ることとした。これは根本に於いては國民の自覺に俟つて趣旨の貫徹を期するが、必要に應じては統制その他の措置を講ずることもあるであらう。

三 生産力擴充計畫

生産力擴充計畫は重要な國防産業と基礎産業の確立を圖るとともに、これら産業の原料たる重要資源を本邦勢力圏内に於いて自給自足に努め、有事の際に於いても出来るだけ第三國に依存することのないやうにし、我が國防力の基礎を牢固不動のものとすると同時に、我が國運將來の飛躍的發展に備へることを目的としてゐる。この計畫の實行は内外の緊迫せる情勢に鑑み一日も遷延を許さざるものであるから、夙に企業院を中心として關係各廳と緊密なる連絡を保ちその協力の下に立案して、本年初頭の閣議で決定を見たものである。こゝにこの計畫編成に當つての重要な點を述べれば

(一) 計畫産業

今回の計畫は鐵鋼・石炭・輕金屬(アルミニウム、マグネシウム)、非鐵金屬(銅、鉛、亜鉛、錫、ニッケル)、石油及びその代用品・曹達及び工業鹽・硫酸・ムモニア・バルブ・金・工作機械・鐵道車輛・船舶・自動車・羊毛・電力の十五産業について生産力の擴充を圖らんとするものである。これらの産業はいはゆる國防産業又は基礎産業に屬するものであつて、國防力の基礎充實に主眼を置き、更に國民生活上不可欠の資材をも考慮に加へて選定したのである。

理想としては、これらの産業と密接な關係に立つ附帯産業についてまで廣く増産計畫を樹てるべきではあるが、廣範圍に互る計畫を樹てることは、徒らに計畫内容を散漫ならしめるばかりでなく、時局緊迫の折から、産業の全部門に互る計畫樹立の餘裕がないために、今回の計畫は重點主義に依つて最も緊急擴充を要する種目に限定したのである。即ち、大體に於いて鐵鋼を始め鐵物資源及び重工業を主眼とし、これに機械工業として工作機械・鐵道車輛・自動車・船舶等、化學工業としてソーダ・硫酸・ムモニア・バルブ等を加へい

更に動力資源たる電力と畜産関係の羊毛とを挙げたのである。

これらの産業の外にも國防上並びに國民生活上極めて重要な産業は多數あるのであるが、特別の計畫をなさずとも相當發達の見込みある産業(例へば硫酸・硝酸・グリセリン製造工業の如き)、或ひは國內に於いて大體自給自足し得る産業(例へば米穀その他の食料資源の如き)は今回の計畫中より除外した。又ゴム、棉花、加里等も極めて主要なものであるが、これらは到底短期間では自給自足の域に達し得ざることには明瞭であるから、これが供給は別途考慮する趣旨を以つて今回の計畫からは之も除外したのである。

(二) 生産目標

本計畫は昭和十三年度を第一年度とする四ヶ年計畫であつて、その目標は、十六年度に於いて重要資源については我が勢力圏内で自給自足の確立に努め、有事の場合に於いても出来るだけ第三國資源に依存することなからしめんとするものである。即ち我が國に於いては重要資源につき相當量第三國よりの輸入に依存しつゝあり、且つ重工業方面の發達も將來の我が國運の進展を背負ひ得る程度に及んでゐない状態であるから、速かにかゝる不安な現狀より脱却して、重要資源については平時を通じて出来るだけ我が勢力圏内に於ける自給自足を可能ならしめるやう生産力を擴充せしめんとするもので、その生産に必要な主要原材料についても我が勢力圏内に賦存する資源を利用すべく極力その開發を圖らんとするものである。

(三) 滿支生産擴充との關係

本計畫は日滿支を通ずる綜合計畫たることを本旨となすものであつて、即ち日滿を中軸とし、これに今次事變によつて我が勢力圏内に確保さるゝに至つた北支を加へ、互に緊密に連絡して適地適業の原則により

産業の振興、資源の開發を圖らうとするものである。この意味に於いては本計畫は既に滿洲で昭和十二年度以來着手實施中の滿洲國産業開發五ヶ年計畫、並びに昭和十四年度より發足し昭和十七年を目標として實施せんとしつゝある北支開發四ヶ年計畫と照應し實質上綜合一體となるべき性質のものである。

(四) 本計畫と物資動員計畫との關係

本計畫が所期の通りに實現を見るならば、軍需物資は勿論時局下に必要な物資の自給力を高めるわけであつて、いひかへれば、この計畫の成否は現在並びに將來の物資動員計畫の遂行といふ見地からしても亦極めて重要なわけである。それ故今回の物資動員計畫に於いてはこの點に特に重點を置き、一般消費を節約しても、生産擴充用資材としては相當巨量の物資を割當てることとした。しかしその額は計畫實行上から見れば必要最少限度のものであるから、資材の使用については最少の資材を以つて最大の効果を上げるやうに特に要望する次第である。また生産計畫上必要な勞力、資金等についても、實狀に即する適切な施策を實施し遺憾なきを期する方針である。

四 綜合計畫の樹立

物資動員と生産擴充の兩計畫が相互に密接な關係があることは既に述べた所であるが、これらの計畫の遂行にあつては更に物價、資金、勞務等に關する施設と相照應するやうに各種の政策が綜合的に運営せられることを要するのである。即ち物資の供給不圓滑は勢ひ物價の騰貴を伴ひ易いが、高物價は輸出品原價の上昇により輸出を困難ならしめ、軍需及び生産力擴充に必要な物資の輸入力を減殺するのみなら

ず、政府豫算の執行を阻害し軍需の充足をも至難ならしむる等、兩計畫の遂行を妨げる結果を生ずる。また資金の問題にしても本計畫に沿つて資金供給と物資供給とが完全に表裏を爲すやうに資金融通或は資金調整法による事業の認可等を調整することを要する。技術者及び勞務者の供給についても本計畫と照應して勞務供給の調整を圖らねばならぬ。更に物資の運搬に當るべき運輸機關についても、最大の機能を發揮してこの計畫に順應すべき方策を樹てねばならぬ。要するに本計畫遂行の爲めには、各般の政策が綜合的に計畫運用されることを絶対に必要とする。

五 結 語

以上物資動員並びに生産力擴充計畫の概要を述べたのであるが、これらの計畫を遂行するためには、物資、資金等經濟の統制を強化するのみならず、勞務、交通、運輸その他各方面に互つて統制その他の方策を行はねば所期の目的を達し難い。勢ひ日常の經濟生活は昨年よりも更に窮乏となると思ふのであるが、これ全く我が國力の飛躍的發展のため一時の不自由を忍ぶことであるから、官民共に時局に對する認識を一層徹底し、一致協力あらゆる艱難を克服してその達成に邁進せられたいのである。



外蒙軍の狀況

陸軍省情報部

一 はしがき

一望千里の廣漠たる草原と沙漠の國、ソ聯邦の懸政に呻吟する外蒙古と、滿洲國との國境附近に又々紛争事件が勃發した。地點は海拉爾西南方約五十里ハルハ河に近きノモンハン、外蒙兵の不法越境に端を發する戦闘である。この地點より稍、西に當るタウランに於いて會つて昭和十一年三月、日ソ兩軍の機械化兵團が衝突したことがある。ノモンハン事件に就いては後日に譲ることとし、今こゝには外蒙軍の實情を紹介することとした。

二 ソ聯と外蒙との軍事的關係

元來ロシアは外蒙古に對して帝政時代當時から非常

な關心を持つて調査研究し工作を始めて居つた。それは滿洲、支那への進出のための通路として、又是場として重要性を有して居つたからである。ソ聯邦の成立した後は、その極東政策上蒙古の地理的位置が軍事的にも重大な價値を有することになつて來た。即ち、極東方面の作戰補給線であるシベリア鐵道を側面より防衛するための前哨地帯として、はた又北支方面に對する積極的行動のための進出路としても外蒙は重要な役割を有するのである。(殊に最近自動車輸送及び道路の發達は目ざましく航空路の開闢と相俟つて廣漠たる天然の障礙は克服されつゝある。)

そこでソ聯としては極めて巧妙なる赤化工作を加へ外蒙古を恰もソ聯邦の一構成分子でもあるかのやうにしてしまつた。ソ聯は會つて支那及び白系ロシアの干渉に

あきたらぬ蒙古民衆を煽動し國民革命黨を組織せしめ、一九二一年(大正十年)には全領域を赤軍及び革命軍によつて平定した後蒙古人に軍隊を組織させ自から指揮官になつて、あの廣い外蒙古をいつの間にか自分のものにしてしまつたのである。更に一九三六年(昭和十一年)三月ソ蒙間に相互援助協約を締結しソ聯は外蒙を軍事的に援助し、外蒙もソ聯に對し軍事的に援助することになつた。この條約の成立と前後してスターリンは外國通信員に對し「若し外蒙が侵略された場合にはソ聯は直ちにそれを援助する」と大見得を切つた。

又去る五月三十一日、モロトフはソ聯最高會議聯邦民族會議に於いて「自國の國境防衛と同様の決意をもつて外蒙人民共和國の國境を護るであらう」と演説してゐるのを見て、ソ聯爲政者の態度が明らかである。現に外蒙には軍事顧問の外に純然たるソ聯の軍隊が常駐屯してゐる有様である。

三 外蒙軍の兵力配備

外蒙古がソ聯の屬國と化してからはその軍隊も萬事

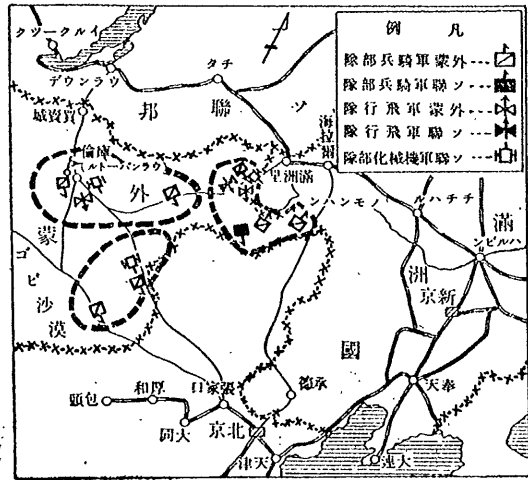
赤軍式に建設せられた。

今その兵力配備を見るのに、滿洲國興安省方面に隣接する東部地區には騎兵一軍團(騎兵三ヶ師團、飛行一旅團)、内蒙方面に對する南部地區には騎兵一軍團(三ヶ師團)、ウランバートル(赤き英雄の都の意)を中心とする中部地區には騎兵一軍團(二ヶ師團と飛行隊若干)、その他西部方面にも騎兵一軍團(二ヶ師團)が配置せられてゐる。従つて蒙古軍の騎兵部隊は十ヶ師團あるのであるが、一ヶ師團は兵數僅かに一千乃至二千といふ貧弱なもので、蒙古軍の實質は二、三萬に過ぎないものと考へられる。又騎兵とはいふものの實は馬匹の戦闘能力は不十分で寧ろ乘馬歩兵とでも稱すべきものであらう。

年々衰滅すると稱せられる外蒙の總人口は僅かに八、九十萬といはれるから、戦時先づ十二、三萬迄位が最大の戦時要員ではないかと見られる。勿論これ等の蒙古軍の要員にはソ聯の軍事顧問が就いて指導してゐる。而してこれ以外にソ聯の赤軍が多數駐屯してゐる。南部には自動車化一師團、東南部には騎兵一師團、東部には機械化一旅團及び飛行一旅團、その他装甲自動車部隊三

旅團、合計總兵力三、四萬、飛行機二百乃至三百、戦車装甲自動車合計二百乃至三百位のものである。

外蒙軍の状況要圖



かくて世紀を忘れてしまつた游牧の蒙古人、悠久の天地と颯々たる風の音とのみが残つた蒙古の高原に、これはまた驚くべき近代文化の尖端兒飛行機、戦車等の近代

兵器が姿を現はした。一は以つて外蒙人を酔はし一は以つて廣漠地の作戦に適應する巧妙なる赤化工作であつたのである。

赤化外蒙は内部の共産政策を實行するがため徹底せる鎖國政策を採り國境警備を至嚴に行ひつゝある。殊にソ聯の極東政策の積極化に伴ひ國境の防備は漸次強化され、今次の支那事變に至つて更に兵力を倍加して外蒙國境に對しては國境から三十哩の間には一切近づかせないやうにしてゐることである。

四 兵役制度

兵役には規定により特に免除せられたるものを除き年齢二十一歳乃至四十歳の者はほとんど一服役の義務を有する。服役期間は現役・豫備役に分ち、現役は騎兵・砲兵・戦車兵は二年、航空兵・機械化兵・通信兵は三年、除隊後豫備役二乃至三年に服しその間若干期間召集教育を行ふことになつてゐる。その他未教育者に對する軍事訓練、補充兵の教育等もある。

五 編成裝備

外蒙軍の編成裝備は良好と見なすべきであらう。軍團は師團若干と直轄部隊として砲兵・航空隊・補給機關を有してゐる。師團は聯隊三個、機關銃隊一隊、七糎半口径野砲十門よりなる一聯隊、裝甲戰車聯隊、通信隊、裝甲自動車隊等を持つてゐる。聯隊には軍刀二中隊、機關銃六銃よりなる一中隊、山砲中隊等がある。中隊は機關銃一小隊と輕機關銃分隊を有する軍刀一小隊とからなる。聯隊以上には赤軍と同様參謀長、政治部長が配屬されてゐる。

舊式軍刀は長さ約一米、この刀を持つてゐる部隊が班刀部隊である。ウランバートルには陸軍大學校、士官學校、幼年學校等の幹部養成機關も設けられてソ聯軍人から教育を受けてゐる。更に優秀者はモスコに留學せしめられる。その他工兵・高射砲隊・瓦斯隊・科學研究所・飛行機工場・軍需品綜合工場等も一通り設備されてゐる。

六 教育訓練

家畜を追うて悠々として暮らす蒙古人には時間の觀念

も文字の智識もないと謂はれて居つたが、赤化せられてからは忽ち舊習を破壊せられ、小學校は設立されてレーニン、マルクスの肖像を掲げた部屋で讀み書きを教へられる。従つて今の外蒙兵は昔のやうに低級ではない。軍隊精神教育の根本を、外蒙共和國共產政府成立の歴史と共產主義の徹底におき外蒙軍はソ聯の指導の下に今や世界最強の軍隊となつた。日、滿軍恐るゝに足らず、愈以つてソ聯との親善を重ね革命の大業を完成すべきであることを高調してゐる。

教育訓練も概ね一般國軍と同様程度に實施せられ防衛面の使用、通信教育等も行はれつゝあるとのことである。兵は峻嚴なる軍紀の重壓下にあるため一見すこぶる軍紀嚴正なる如く觀せらるゝも、實際は逃亡兵相次ぎ入營歸郷を許さず家庭との通信を禁止し不平の空氣が漲つてゐる。従つて共產黨員を希望するものは稀であつて特にソ聯人に對する反感は相當深刻なるものがある。併し之を口外すれば忽ち嚴罰を課せられることはソ聯内部と同様である。

七 その他

一般に衛生思想極めて低級であつて花柳病・眼疾・呼吸器疾患多く、ために入營壯丁にも花柳病・眼疾の帶患者が多數ある。

(附記) 廣漠地戰鬪の特質

廣漠たる大平原をなす地域の戰場には遮蔽物が乏しく又地點の指示や方向の維持が困難である。未開不毛の地に於いては特に軍隊の補給が困難を極め大部隊の作戦は容易ではない。廣漠地に存在する河川・濕地・湖沼・森林・住民地・砂漠等は各、その特質と季節、氣象とに應じ廣漠地の價値に影響することが大である。人口稀薄で交通・通信等の發達せざる廣漠たる地方に作戦する軍隊は、交通・補給等の制限を受けることが大である。軍隊が遠く廣漠地内に進入し又は更に之を越えて前進せんとする時には、特にこれ等の施設及びその掩護等に關し豫じめ十分なる準備を整へなければならぬ。

廣漠地に於ける大部隊の行動は自ら交通幹線若しくは河川その他水源多き方面に於いて實施せられることが多し。いづれの場合に於いても軍隊は極力資材及び水を節約し、困苦缺乏にも堪へなければならぬ。機械化部隊は廣漠地に於いてはその特色を發揮し敵を攻撃するに適し、又飛行機は搜索、連絡等のため特に大なる効果を發揚し得るものである。

廣漠地に於いては企圖を秘匿し敵の意表に出でんが爲め、攻防ともに極力敵の搜索機關を撃攘し適切なる偽裝及び欺瞞行動を行ひ、緊要なる時期に於いて巧みに夜暗、氣象等を利用して機動及び軍隊配置の變更を斷行し速やかに有利なる態勢を取つて敵をして對應の處置を講ずるの進なからしめることが必要である。廣漠地に於いては、通常敵の翼側に堅固な支隊點がない。攻者は各種の手段を盡くして包圍迂回、側面攻撃によつて敵の準備しない正面に對して迅速に決戦を指點するの着意が必要である。また廣漠地に於いては正面に對する火力の威力は大である。

事變の戦果

(勅諭以來未年 四月末まで)

占據地域は我が全土の二倍半、敵の死傷者實に二百三十萬

大本營陸軍部では五月二十九日、事變勃發以來四月末までの日支兩軍交戦による戦果を左の如く發表した。

占據地域

一、察哈爾・綏遠・河北・山東・山西・江蘇・安徽の全省及び河南の大部、浙江・江西・湖北・廣東の各一部、海南島の全部

二、面積

一、五六二、九三八平方千米

我が全土の二倍半弱（我が全土六七五、三六五平方千米）

占據地以外の支那本土（二、一五七、三四六平方千米）との比

比 $\frac{50}{100}$

支那全土（一〇、〇五九、八七七平方千米）との比 $\frac{16}{100}$

彼我損害一覽表

(昭和十四年四月末調)

方面	区分	區域	期間	遺棄死體	戦死
支北	海州附近	及占據地及び管内	自十二月	六三、一九六	四七、三三
			至四月		
支中	豫南	武寧・南昌	自三月十九日	三、〇〇〇	
			至三月卅一日		
支南	廣州	廣州一帯	自四月十七日	九〇	
			至四月廿四日		
支南	海南島	海南島	自十二月	二七、八三	
			至四月		
合計			一一三、〇四九	五九、九八八	

備考 敵に與へたる損害は總計少くも二百三十萬と判斷せらる。

支那事變商獲品調査表

(昭和十四年五月調)

品名	数量	品名	数量
小銃	二〇八、〇一七	手榴彈	五、六五三
重機銃	二七、九六三	龍捲彈	一、三〇四
拳銃	三、三三三	手榴彈	二、〇四〇
野戰砲	七、〇七〇	手榴彈	一、七九三
迫撃砲	一、三一一	手榴彈	一、〇〇〇
重砲	六、八六六	手榴彈	一、七八七
野戰砲	三、〇三〇	手榴彈	一、〇〇〇
重砲	三、〇三〇	手榴彈	一、〇〇〇
野戰砲	三、〇三〇	手榴彈	一、〇〇〇
重砲	三、〇三〇	手榴彈	一、〇〇〇

品名	数量	品名	数量
鐵甲車	七、〇〇〇	投擲彈	九〇
飛機	一、〇〇〇	地雷	一、〇〇〇
戰車	五〇	水雷	一、〇〇〇
偵察機	一〇	毒氣	一〇
客車	一〇	防毒面具	一〇
裝甲車	一〇	防毒眼鏡	一〇
無線電	一〇	防毒帽	一〇
電話機	一〇	防毒服	一〇
汽船	一〇	防毒鞋	一〇
自來水機	一〇	防毒襪	一〇
汽鍋	一〇	防毒手套	一〇
橋樑	一〇	防毒褲	一〇
材料	一〇	防毒面罩	一〇
馬	一〇	防毒眼鏡	一〇

(17)



支那事變國債の常識

大蔵省理財局

國債と銃後の奉公

支那事變國債とは

今日までに帝國議會の協賛を経た支那事變のための軍費は、總計百十九億九千五百餘萬圓に上り、これを今日までに於いて我が國が國運を賭して戦つた。彼の日露戦争の戦費豫算十九億八千六百萬圓に較べてみますと、實に六倍に相當し、又日清戦争の戦費豫算二億五千萬圓に較べますと、約五十倍にも相當するのであります。

國債に依ることになつてゐるのであります。しかも日露戦争の時には、戦費の内八億圓は外國に於いて國債を募集して賄つたのであります。現在の國際情勢の下に於いては、外國の援助に頼ることが出来ないのは勿論でありまして、すべて國內に於いて此の資金を調達しなければならぬのであります。

この國債を支那事變國債と稱し、本年五月末日迄に發行したのは合計五十九億五十萬圓であります。今年度中には尙ほ相當發行しなければならぬのであります。戦時の貯蓄は國債で、若し國家が國債を發行しても、國民が蓄積した資金でもつて之を買入れて國家に必要資金を供給してゐるものと見なければならぬのであります。

國債と郵便局賣出

國民が擧つて國債を

要な資金を供給してゐること、即ち國債を消化してゐなければ、國家としては必要な資金を得ることが出来ず、従つて大陸で御國の爲めに命を投げ出して戦つてゐる我々の同胞に、必要な兵器や彈藥、食糧などを送ることが出来なくなるのであります。我々銃後の國民は、出征兵士の勞苦を思ひ、各々分に應じて生活を刷新し、浪費を戒め勤儉貯蓄をし、出来得る限り國債を買入れて、戦費の調達に貢獻して銃後國民の責務を果さなければならぬのです。

國債を廣く國民一般の間に普及させ、國民各自に、自分は國債を持つて國家の歳入に貢獻したのであり、又國家に對する債權者である。といふ考へを持つて買ふことは、國の財政に對する國民の關心と理解と

を深める所以であつて、極めて望ましいこととあります。殊に、今回の事變の如き多額の戦費の調達を要する時には、國民が擧つて國債を持つて、戦費の調達に遺憾なきを期することは、益々必要であります。そこで我々の日常生活上最も親しみの深い、全一萬二千餘の郵便局から國債を賣出し、誰でも近くの局から、葉書や切手を買ふと同じやうに至極簡便にしかも無手数料で、國債を買ふことが出来るやうにしたのであります。

國債投資は絶対安全

凡そ貯蓄にしろ、投資にしろ、資金を運用するに當つて、先づ第一に心懸けねばならぬことは、その元本が安全確實なことでありませう。如何に利廻りその他の條件が良くても、元本に對する不安があつてはこれを避くべきであります。

國債は國家に對する貸付金でありますから、これほど安全確實なものには外にありません。

ん。また國債には登録國債の制度がありまして、日本銀行の國債登録簿に登録して、所有權を明らかにして置けば、盗難紛失等の心配は絶対にないのであります。この登録には料金は要りません。また郵便貯金をして居られる人は、郵便局で國債を安全に保管して買へるのであります。郵便局賣出の國債に限り一枚につき十錢といふ特別の保管料を取扱つて買へます。

支那事變國債の利廻り

郵便局から賣出します國債は、當初は二十五圓券・五十圓券・百圓券・五百圓券の四種類でありましたが、その後千圓券といふ比較的大きい額面のもので、十四圓といふ小額のものが加はりました。賣出値段は額面百圓につき九十八圓の割合でありますから、二十五圓券ならば二十四圓五十錢、五十圓券ならば四十九圓といふ値段で買へるのであります。

また國債の利子は年三分五厘の割合であります。

りませんが、買入値段が額面以下で、償還のときには額面通り支拂はれるのであります。すから、年々の利息以外にその差額だけの利益が生れる譯であります。従つて、この利益の年割額と年々の利息との合計を、買入値段で割つたものが利廻りでありまして、國債の利廻りは年三分六厘八毛に當り、單に貯蓄や投資の方法として考へても、極めて良い利廻りでありませう。

不時の費用には買戻

一旦買つた國債は成るべく永く所有されることは勿論望ましいのであります。若し家計の都合上とか、不時の費用などで、萬一急に現金に換へたい場合には、郵便集配事務を取扱つてゐる郵便局ならどこでも買上げることになつてゐます。而かも買入値段は僅かな買戻料としての手数料を差引くだけで、買戻の時の國債の時價に賣却の時迄の超過利子をも加へた額に依るのであります。

便利な國債の特典は

國債は各種納税の延納擔保や保證金等として、現金を政府に納むべき場合に、その代用とすることが出来、その場合先當せられる価格は、現金を納めるよりも非常に有利に取扱はれます。なほ國債の元利金は日本銀行の本店、支店及び代理店並びに全國どの郵便局でも受取れます。前に申しました登録國債にして置かれた方の利子は、銀行の當座勘定に振込んで貰へますし、郵便局で保管して貰った方の利子は、知らぬうちに郵便貯金の中に加つて行きます。また國債に對する税金は一般に輕いのであります。

割引國債の發行

割引國債とは

從來郵便局から賣出された國債は、全部利札附のもので、國債所有者は年々利子の

支拂を受けるのであります。収入利子で生活して居られる人は格別、之を貯蓄に向けた人でも、とかく無駄費ひに終り貯蓄することがなく困難なものです。そこで、毎年一定の利子収入あるよりは、寧ろこの利子をも一定の期間蓄積して、元金と一緒に利殖を圖ることを望まれる人の需要に應ずるために、今回の郵便局賣出に第一回の割引國債を賣出すこととなりました。この割引國債といふのは、年々利子の支拂がない代りに、これを複利計算で積立て、償還期に元金と一緒に償還される仕組みであります。つまり十回券ならば、賣出値段が七回で、償還期には額面通り十回が支拂はれ、償還金と賣出値段との差額三回が利子に相當するもので、これには所得税も資本利子税もかかりませんのであります。

割引國債の特典は 二十回とあります。そして十回券は七回に割引き、二十四回に割引いて賣出すのであります。期限が来て償還されるときには、額面通りそれより十回又は二十回を受取るのであります。割引國債の償還期限は十年で、利札附國債のやうに長くありません。従つて十年間に賣出値段たる元金七回が利を産み、その利がまた利を産んで、合計三回を利殖することとなるので、その割合は、年二期拂の原利三分五厘五毛に當り、結局割引國債を買った人は、知らず知らずの間に、利子を貯金して置いたのと同様になるのであります。割引國債の特典は 割引國債にも利札附國債と同様、登録國債の制度や郵便局保管の制度があり、また各種納税の延納擔保や保證金等の現金代用として非常に有利に取扱はれるのであります。また不時の用に對しては利札附國債と

同様、郵便局で買上げるのであります。この外割引國債に對しては、所得税や資本利子税がかゝらないのみならず、十回券二十回券に對しては、右價證券移轉税もかかりません。

國債の賣行と強き國力

支那事變國債の郵便局賣出は、一昨年十一月第一回を發行してから、大體一月置きに行はれ、今度愈々第十回を行ふこととなりました。今までの成績は、毎回國民の熱誠ある支援に因り、賣出前から豫約申込がなかなか多く、毎回賣出豫定額を超過してある好成绩で、去る四月の第九回賣出まで、賣出總額は約六千萬圓であります。弛むな今後

我々が僅か一枚や二枚と云ふ風に買った國債が集りますと、こんなに多額になるのであります。併しこの成績が良好であると

いつて安心してはなりません。これを、本年五月末日までの支那事變國債の發行總額五十九億五千萬圓に較べて見ますと、僅かに一割一分しか當りません。しかも前にも申しましたやうに、今後益々多額の國債を發行しなければならぬのであります。一般國民が郵便局の窓口から、支那事變國債の發行額の二割も三割もを、買ふやうにしなければならぬのであります。

世間では、往々、自分の家では僅かの貯蓄しか出来ない、國債も十回券一枚位しか買ふことが出来ない、僅か一枚位買つても、國の爲めに何の役にも立たないから、もつと多額の國債を買入れることの出来る人、國の爲めに盡して戴かうといふ人もあるのであります。一家の僅かの金でも、一國民の一枚の國債でも、國家の總力となり、難局を切り抜ける基礎となるのであります。武力戦に依る戦ひが如何に強くとも、背

後の經濟力で破れては、終局の勝利を得ることが出来ません。この經濟力こそは、我々國民各自の力であります。しかも我が國の經濟力は、日露戰爭當時と較べますと、銀行預金は十八倍、郵便貯金は百十倍、達資本金は十九倍、内地貿易額は九倍、國民所得は十二倍と、それら巨額の増加を示し、非常な躍進を遂げてあります。その上最近の生産の擴充に依りまして、從來我が國に不足してゐた時局に必要な物資の生産力は、着々擴充せられつゝあるものであります。之が完成の驛には、從來持たざる國と稱せられてゐた我が國は、一躍持つる國となるのであります。今や、國民各自が眞に學國一致で、この國力を發揮すべきときであります。支那事變國債は直ちに軍費となり、躍進日本の原動力となるのであります。國民が舉つて此の國債を買入れることこそ、我々の強き力の具體的發揮に外ならないのであります。





香港貿易の變遷

外務省情報部

香港の「大公報」といふ有力な支那新聞に、今年一月から三月末までの三ヶ月間に、香港經由で輸出された支那物産の状況が出てゐた。そしてそのはしがきに少しばかりではあるが、戦局と貿易状態の變遷關係を述べてあつた。この記事は輸出品についての解説が主で、貿易全般の研究資料としてはたいしたものではないが、香港貿易の動きを連じて蔣政権の窮状を見る上には、かなり参考になると考へ、以下にこれを譯載引用することにした。

× × ×

日支事變が爆發した後、香港の對外貿易は畸形的に發展を遂げた。それは支那の物産は、上海の陥落した後、粵漢鐵道によつて香港に集中したからである。故に昨年の香港貿易は激増して二、三億元に上つたが、日本軍が南進し

た以後は、また状況が變つてきた。その原因は香港と支那内地との交通が阻害されたからで、支那物産の香港に集中輸出されるものが減少した。すなはち今春の香港對外貿易は萎縮してきた。香港政廳の統計によれば、本年春季（一、二、三月）支那物産の香港に運送されたものは僅かに四千六百二萬九千一百二十四元（香港幣）で、これを昨年同春季の五千八百五十九萬八千五百四十四元と比較すれば、實に一千二百五十六萬一千七百三十元の激減を示し、香港から支那各地への仕向も同様激減してゐる。すなはち今春は二千百四十萬二千九百二十三元に過ぎず、これを昨年同期の六千六百三十六萬三千三百三十四元と比較すれば、四千一百九十五萬七千四百一十一元の大減退を見た。

現在運輸は比較的困難を感じてゐるが、しかし我が當局（支那當局）は積極的に農民を獎勵して生産を増加し、對

外貿易の促進を謀つてゐる。

〔譯者註〕 支那側としては當然かくいはなければならぬが、主要な農産地や礦業地が、或ひは占領地域と化し、または交戦地となつてゐるから、輸送は到底望まれない。

香港政廳の統計によれば、三月分の支那物産の香港から諸外國に輸出された価格は合計一千五百六十萬八千七百三十三元（本年一月分に比し二十萬元の増加で、二月分と比較して六十萬元増加してゐるが、しかしこれを昨年の三月分と比較すれば、八百二十四萬六千餘の激減を示してゐる。）、桐油が第一位にあり、藥品（註）草根木皮の漢藥がこれに次ぎ豚毛がさらにその次になつてゐる。こゝに三月分の各種の重要な支那物産の香港に運送されたものの價格及び已に香港より輸出された數量價格を逐一分説すれば次の如くである。

桐油 桐油は支那の特産物の一つで、湖南・湖北・四川から最も多く出る。また雲南・貴州・廣西の各省にも産するが、その數量はあまり多くない。中部支那に産する桐油は、事變前までは揚子江を下つて上海に集まり、そこから外

國に仕向けられてゐたが、一昨年八月十三日上海で戦争が始まつた後、運送の道筋が變つて粵漢鐵道により香港に集まり、外國に輸出されることになつた。たゞし（廣州・廣東）が陥落した後、さらに北海（海南島の對岸）海防（佛領印度支那）方面を通過して香港に出るやうになつた。

従來北海から輸出される桐油は相當に多かつたが、三月二十日財政部が同地經由の輸出品に對し、外國爲替の統制を施行して以來、營業者は仕入資金の加重により利益が少くなつたので、現在は餘程減少した。これがため桐油の値段が上つて一擔に付き七十元強になり、二ヶ月前に比較すれば十元以上の騰貴を見るに至つた。香港に於ける桐油商のいふところによれば、現在の在荷は少く、仕出地にも少いから、まだ上騰する見込みだとのことである。香港當局の統計によれば、香港に入つた三月分の桐油は四萬八千九百二十三擔に過ぎず、二月分にくらべて約一割の減少で、その總價格は二百八十六萬二千五百四十六元になつてをり、海防を経て來たものが最も多い。

一月及び二月分を併計上すれば八百三十一萬六千一百六十六元となり、三月分の香港から外國に輸出された

數量は合計七萬一千九百八十擔(二月分)に比し約五割増
加でその價格四百二十二萬七千九百二十五元となり、一
月から三月までの累計は九百四十二萬九千五百九十六元
上り、その仕向先は米國が第一位を占めてゐる。三月分の
米國仕向は六萬擔餘、三百萬元に達した。

茶 支那の茶の主要産地は安徽、江西、湖南、湖北の四省
であるが、今年は茶の主要産地が多く失陥した。しかし對
外貿易委員会は早く中國茶業会社に命令して、元の産地
の耕作器具を悉く雲南、湖南等の新産地に遷させ、茶業の
繼續を謀つたから、今年の茶の輸出は法幣で四千萬元に達
する見込みである。

〔譯者註〕 いふまでもなく茶の産地を急に移すことは出来
るものではない。皇軍の占領地域の茶も、良民保護の見地
から移輸出させるから、前記見込み数字が出て来るのであつ
て、新産地が出来て積産地に代つた譯ではない。こんなこと
ろにも抗日派記者の宣傳振りが出てゐる。

現在原産地の舊茶の滞貨は少量に過ぎず、したがつて三
月分の香港に集まつた數量も、僅かに一百八十三萬六千四

十九封度で二月分に比し遙かに少い。この價格は五十九萬
一千四百九十一元にならぬ。一月及び二月分を一併計
上すれば、三百四十七萬七千九百五十六元になる。

三月分の香港から輸出された茶は合計四百七萬一千一百
五十二封度で、二月に比較すれば半分以下に減じた。その
價格は一百六十九萬七千三百三十六元となつてゐる。一月
及び二月分を加へて三ヶ月分合計七百五十三萬七千七百九
十四元となり、ロシア向が依然として最も多かつた。前記
の數字を通じて見ればわかるやうに、今は茶の出廻りが閑
散な時期で、香港に來るのも香港から輸出されるものも共に
減少してゐるが、一、二ヶ月後には新茶が出廻はつて、香
港に於ける集散が盛況を呈するであらう。

礦石 廣東、廣西、雲南、湖南、江西の諸省接境地方は支
那に於ける礦産物の包蔵量の最も多いところである。事
變後我が(支那)當局は産業開發の見地から、民間に命令し
て礦物の開掘に努力せしむると共に、在外同胞の投資を
奨励して、礦産の開發に協力するやうに勸誘し、現在その
産額は日に増加してゐる。

〔譯者註〕 この點も宣傳ばかり大きく、事實將政權は礦産物の

増收にあせり、華僑(在外支那人)に投資を勸誘し、貧弱な
技術者の總動員をやつてゐるが、貿易上から見てもまた新聞
の報道を検討して見ても、その實数は少しもあがつてゐらず、
華僑もまた投資を實行するに至つてゐない。産額は日に
増加してゐるが、これは希望を事實のやうに書いたままで、
支那の新聞にはこんなことが始終出てくる。

今や國際間の風雲が急を告げ、各國は積極的に軍備を擴
張しつゝあるので、支那の礦石輸出は非常に有望である。
支那の礦産物は依然として香港に集中し、それから各國に仕
向けられてゐる。たゞ近來は廣東省が戰場になり出廻りの
道筋が多くは塞がつたがため、香港に出る數量も自然減少
し、ことに江門(新會縣城)の陥落により、従前同地經由澳門
に出る香港に來たものが今は來なくなつたから、將來改め
て新交通線によつて搬出しなければ、香港に出る數量がさ
らに減少する恐れがある。

某新交通路(澳門を含む)を経て香港に出た三月分の礦
石は、僅かに八萬四百二十三元で、二月分の七十二萬五千
一百四十六元に比しほとんど十分の一に激減した。一月分

及び二月分を加へて合計二百三十三萬五千八百七十六元と
なり、三月分の香港から出た礦石は一百五十三萬三千五百
六十九元となり、二月分の輸出に比較すれば、二百六十二
萬五千七十二元の減少を示し、ほとんど三分の一に低下し
た。一月以降三ヶ月分の輸出合計は六百四十六萬九百四十
九元を算し、依然としてドイツ、フランス、イギリスが主な
輸出先であつた。

藥品 支那の藥品は國內で賣られる以外に、安南、マ
レー、シヤム、アメリカなどのやうな華僑の居住地に仕向け
られ、その大部分は香港から輸出される。元來支那の藥品
は、産額の上では四川省が最も多く、中南支の諸省からも相
當に出る。北支から出るものは現在依然として平時どほり
に香港に來てゐるが、中支(四川省を除く)に産するものは、
戰爭關係によりあまり香港に出でこない。四川省及び南支
各省に産するものは従前どほり引續いて香港に來てゐる。
その一部分が香港で消費される以外はことごとく海外に仕
向けられる。三月分の支那内地から香港に運び込まれた藥
品は一百一十一萬五千餘元で二月分に比し十五萬五千元増加

してをり、一月以降三ヶ月分の累計は二百七十八萬三千餘元となり、三ヶ月分の香港から輸出された額は二百三萬六千一百七十九元で、二月分比して八十五萬五千七百三十六元の増加を示した。一月分及び二月分の輸出を一併計算すれば四百五萬五千五百二十二元になる。

豚毛 豚毛はフランシ製造の原料として使はれ、數種類に分たれてゐるが、白いのが最良とせられ、その世界の産地は僅かに二ヶ所で、四川省がその一つになつてゐる。現地在の産品は陸路で海防に運送され、同地から香港に來てゐる。三ヶ月分の香港に搬入された數量は二千一百九十四擔で、二、二の二ヶ月分の合計に比し八百三十一擔の増加を示し、その価格は九十六萬七千九百一十一元と計上されてゐる。これに一、二の二ヶ月分を合算すれば一百五十四萬四千六百四十一元になる。三ヶ月分の香港から海外に輸出された數量は五百七十六擔で、その価格は三十二萬八千四百四十五元と計上されてゐる。一月以降三ヶ月分の輸出合計九十八萬二千九百四十八元となり、米國に仕向けられたものが最も多い。

生糸 支那の製糸地は、江蘇、浙江の二省が第一位に在るが、事變後前記二省は相ついで陥落した。廣東省もまた製糸地であるが、これもまた日本軍の南進により失陥地となつた。しかし我が(支那)當局は早く四川及び雲南の二省で、農民を指導して養蠶製糸を習はせておいたから、現在四川は已に支那に於ける最大の生糸製造地になつた。
〔譯者註〕 これもまた例の宣傳振りを發揮したもので、元來四川は生糸の産地であつて、當局の指導宜しきを得て新らしく生糸の産地が出来た譯ではなく、必要に支配されて産額が幾分増加した程度のものに過ぎない。

三ヶ月分の原産地各所から香港に運送された額は、五十八萬五千七百九十六元で、一月以降三ヶ月分合計一百五十三萬五千五百七十四元になつてゐる。三ヶ月分の香港から海外に仕向けられた額は六十一萬七千八百八十四元で、主要仕向地は安南、印度、フランスであつた。なほ一月以降三ヶ月分の輸出合計は一百七十五萬四千八百三十六元になつてゐる。

右支那新聞の報じてゐるところは、蔣政權に不利な點

を削つたり、産業開發が具體的に進展しつゝあるかのやうに書くがために、そのまゝ受け入れられない點もあるが、香港を經由する支那物産の輸出貿易がどんな變化を示してゐるかを知らるためには、一つの資料とするに足るものであつて、蔣政權下の地域の産物搬出が、如何に困難になつたかが十分に察せられ、同様の見地から、輸入品の同地域持込みが非常に不便になつたことも、明らかに判明する。

香港自體の貿易状態は、前記支那紙の報じたやうに、上海で戦争が発生しその貿易がとまるに及んで、香港は輸出と共に一時は驚くほどの増加を見たが、廣東、武漢の陥落とともに粵漢線による輸送がとまつたので、いはゆる崎形的發展は還元して、數字の上では大體元の状態に歸つてしまつた。支那全體としては必要上の出るべきものは何とかして出し、入るべきものは何とかして入れるから、從來の取引系統から考へて、現状は急に大なる變化を見るものとは考へられないやうだ。しかし上海、天津、青島、漢口等が復舊振興するにしがひ、漸次香港貿易はいくらかつ減退するものとは想像される。しかしこの際の第一義的問題はその點ではなく、香港貿易の變遷に現はれた蔣政

權下に在る地域の輸出入難が、蔣政權の世帯に非常な悪影響を與へてゐることであらねばならぬ。この意味から南昌の陥落に因る浙贛鐵道(杭州から南昌を経て粵漢線に聯絡する鐵道)の利用が出来なくなつたことは、蔣政權にとり重大な打撃である。

海軍の戦果

撃破飛行機と處分機雷數

大本營海軍部では、今年一月より五月廿一日に至る作戦行動とての成果について、廿一日公表したが、そのうち撃破した敵機數と處分機雷數は左の通りである。

一、敵飛行機に與へた損害		合計	
本期間	不確實	本期間	不確實
計 一、三四三	二一八	一、五六一	
(備考) 我が損害—本期間三、		計一、一六	十三年度末
二、處分機雷			
揚子江方面	本期間 五三六	累計 二、八四八	
珠江方面	二二七	六五四	
計	七七三	三、五〇二	

最近公布の法令

内閣官房總務課

日本發送電株式會社法第十二條及第十六條並ニ昭和十三年法律第七十八號第一條及第五條ノ場合ニ於ケル登記ノ手續ニ關スル件

日本發送電株式會社法及電力管理ニ伴フ社債處理ニ關スル法律ノ施行ニ伴ツテ、日本發送電株式會社法第十二條及第十六條ノ規定ニ依ツテ出資ノ目的タル設備又ハ土地ノ占用若シクハ使用ニ關スル權利ガ日本發送電株式會社ニ移轉シタトキ等、兩法律ニ依ル電力設備等ノ移轉ニ關スル登記ノ手續ヲ定メタメ、四月一日ヨリ施行セラレタ。

農業保險法施行令中改正ノ件 (三月三十一日公佈勅令第四百三十五號)
農業保險法施行令中改正ノ件 (三月三十一日公佈勅令第四百三十四號)
農業保險法施行令中改正ノ件 (三月三十一日公佈勅令第四百三十三號)
農業保險法施行令中改正ノ件 (三月三十一日公佈勅令第四百三十二號)

産業組合自治監督法施行令 (三月三十一日公佈勅令第四百三十五號)
産業組合自治監督法施行令 (三月三十一日公佈勅令第四百三十六號)
産業組合自治監督法施行令 (三月三十一日公佈勅令第四百三十七號)
産業組合自治監督法施行令 (三月三十一日公佈勅令第四百三十八號)

金貨金ノ運用ニ關スル件 (三月三十一日公佈勅令第四百三十七號)
金貨金特別會計法中改正法律第四條第一項ニ依ルれば同會計ノ資金ハ、金、國債、資金振興債券、日本資金振興株式ノ買入又ハ投資

運用し得るほか勅令ノ規定したる所に依り運用し得ることになつてゐるので、同規定に基づき資金金は銀及び外貨ノ買入、日本資金振興株式會社ニ對する貸付金並びニ大藏省預金部ヘノ預金にも運用し得ることニ規定したものである。

關東州支那事變特別稅令中改正ノ件 (三月三十一日公佈勅令第四百三十八號)
關東州臨時利得稅令中改正ノ件 (三月三十一日公佈勅令第四百三十九號)
關東州臨時地租措置令中改正ノ件 (三月三十一日公佈勅令第四百四十號)

支那事變特別稅法中改正法律、臨時利得稅法中改正法律及び臨時地租措置法中改正法律(勅令九百二十八號)の制定に呼應して、關東州ニ關する上記の勅令に所要の改正を行つたものである。

外務部内閣臨時職員設置令中改正ノ件 (四月一日公佈勅令第四百四十一號)
在外公館職員令中改正ノ件 (四月一日公佈勅令第四百四十二號)
大正五年勅令第九十六號外國在勤ノ外務省警察官ニ關スル件中改正ノ件 (四月一日公佈勅令第四百四十三號)

海軍省官制中改正ノ件

海軍省官制中改正ノ件 (四月一日公佈勅令第四百四十四號)
海軍省官制中改正ノ件 (四月一日公佈勅令第四百四十五號)
海軍省官制中改正ノ件 (四月一日公佈勅令第四百四十六號)
海軍省官制中改正ノ件 (四月一日公佈勅令第四百四十七號)

大正十年勅令第四百二十二號海軍所屬技師ノ平時定員及官等ニ關スル件 (四月一日公佈勅令第四百四十六號)
海軍航空隊令中改正ノ件 (四月一日公佈勅令第四百四十七號)
海軍航空隊令中改正ノ件 (四月一日公佈勅令第四百四十八號)

海軍人事部令中改正ノ件 (四月一日公佈勅令第四百四十九號)
海軍軍需部令中改正ノ件 (四月一日公佈勅令第四百五十號)
海軍軍需部令中改正ノ件 (四月一日公佈勅令第四百五十一號)

海軍給與令中改正ノ件 (四月一日公佈勅令第四百五十二號)
海軍兵學校、海軍機關學校海軍經理學校生徒ガ公務ノため傷損を受け又ハ疾病に罹リ入院又は轉地療養を爲す場合は手當の全

海軍省官制中改正ノ件

額を給し、豫備生徒、豫備練習生及び豫備補習生に海軍に於いて教育中手當を給することとし、又滿洲國在勤の大使館附武官、武官輔佐官その他外國在勤の士官、特務士官、准士官等の在勤加俸ニ關する規定を加ふる等の改正を行つたものである。

電信省官制中改正ノ件 (四月一日公佈勅令第四百五十二號)
電信省官制中改正ノ件 (四月一日公佈勅令第四百五十三號)
電信省官制中改正ノ件 (四月一日公佈勅令第四百五十四號)

高等官官等條給令中改正ノ件 (四月一日公佈勅令第四百五十五號)
電氣廳官制施行ノ際ニ於ケル電氣廳ノ職員ニ關スル件 (四月一日公佈勅令第四百五十六號)

電氣廳に關しては週報第一三〇號「電力國家管理ノ前進」三頁以下參照。之に伴つて電信省所管事項中より發電力に關する事務及び電氣に關する事業ノ監督ノ事務ヲ削除シ、選信省の内局たる電氣局を廢止シ、又選信部内臨時職員に於いて選信省職員を電氣廳職員に組織シ、電力管理ニ伴フ電力設備ノ出資及び電力供給關係ノ措置ニ關する事務に從事する者ノ増員を爲シ、高等官官等條給令に於いて電氣廳官制制定ニ伴フ所要ノ改正を行ひ、電氣廳官制施行の際に於ける電氣廳ノ職員ノ辭令を特に省略する爲め必要ノ規定を設けたものである。

現下内外の情勢を鑑みるに、我が國航空工業の確立は刻下の急務で、之が方策として既存の研究機關の外に航空及び航空機に關する技術的綜合的研究機關を設け以つて世界最高の技術の獲得と最優秀なる航空機の製作とを企圖するの必要があるので、新たに通信大臣の管理に屬する中央航空研究所を設け、兼に設置された中央航空研究機關設立準備部及び中央航空研究機關設立委員會を廢止し、之に伴つて高等官等體給令に所定の改正を行ひ、中央航空研究所研究官には現役陸海軍武官を任命する場合があるので大正九年勅令第三百六十七號に所定の改正を加へ、又中央航空研究所建設の事務に従事する者を通信部内臨時職員設置制中に置いたものである。

◆委任文官特別任用令中改正ノ件 (四月一日公布勅令第六百六十號) 電氣總事務官及び中央航空研究所事務官はその職務の性質に鑑み多年行政事務に従事し経験を有する者の中から之を任用し得るの途を拓いたものである。

◆厚生部内臨時職員設置制中改正ノ件 (四月一日公布勅令第六百六十二號) ◆朝鮮總督府地方官官制中改正ノ件 (四月一日公布勅令第六百六十三號) ◆旅順高等公學校官制中改正ノ件 (四月一日公布勅令第六百六十四號) ◆高等官等體給令中改正ノ件 (四月一日公布勅令第六百六十五號) ◆大正十三年勅令第八十九號朝鮮臺灣關東州ニ於ケル官立公立學校教育ニシテ一年現役三服スル者ノ給與ニ關スル件中改正ノ件 (四月一日公布勅令第六百六十六號)

昭和十四年度に於いて金州女子高等公學校を新設する爲め、旅順

高等公學校と金州女子高等公學校とを關東高等公學校とし、新設の高等公學校に配置する等の爲め所定の職員増加を行ひ、之に伴つて二勅令に改正を加へたものである。

寫眞週報

六月七日發行 第六十八號

- ☆聖職下再び海軍記念日を迎ふ
- ☆新興トルコ
- ☆職業職事變色
- ☆海外通信
- ☆街の子供に田舎の風
- ☆讀者のカマ

寫眞週報

寫眞週報

我が國體と世界法 大田代夫(國民精神文化研究所編) 國體法に於いては、國體法に於いては、西洋近世の個人主義的、相對主義的思想が行詰つたところ、日本の萬國公法を出現せしむべしといひ、本居宣長、大國體正の說を援用して眞の自然法であり世界法である神ながらの道に基づく法理念を明らかにすべしと説く。この觀點から九國條約の問題にも言及してある。 定價九角 發行所 東京市品川區品川三丁目九番地 電話九三三三 發行所 東京市品川區品川三丁目九番地 電話九三三三 發行所 東京市品川區品川三丁目九番地 電話九三三三

勤勞教育の理論と方法(大倉邦彦著) 近來、勤勞奉仕集團行動が全國的に實施されてゐるが、その指導精神及び具體的指導方法に至つては指導者自身も明らかになつてゐないやうである。本書は、宗教的行として生活の一致した勤勞教育を提唱し、著者自身の體験にもとづいて書かれてゐる。勤勞教育に關する參考書の少いとき、指導者のために誠實に良書といへよう。 定價二角 發行所 東京市品川區品川三丁目九番地 電話九三三三 發行所 東京市品川區品川三丁目九番地 電話九三三三

注意	御	所	込	申	價	定
▲本誌より精選の場合、同選送料を内附し、送料は別記。▲本誌記事の無断転載は固く禁じます。▲本誌記事に對する御意見や御批評は、御意見欄へお送り下さい。▲本誌へ御送付の際は、内附印刷局へ		各書店・驛賣店	東都書籍株式會社	東京市品川區品川三丁目九番地 電話九三三三	一部 一圓二十錢	一ヶ月(前金) 一圓二十錢



國際經濟

報 週

六月一日號

イギリスの危機豫算の全貌
イギリス財政の新段階
サイモン蔵相の豫算演説(録音)
本年度豫算の大綱
本年度物資動員計畫成る
活況を呈する最近の起債界
蒙 疆 政 權 の 動 向
ドイツの勞働奉仕義務の擴張(ルイ)
戦争の場合アメリカ經濟はどうなる

行 設
東京市京橋區銀座西八ノ九
電話 銀座(三)三九七番
掛 東京八五〇〇番
社 團
法 人
同 盟
通 信
社

國 內 概 觀	國 外 概 觀	海 外 概 觀	國 內 概 觀	海 外 概 觀	滿 支 概 觀	通 商 概 觀	國 際 概 觀	銀 行 概 觀	統 計 概 觀	定 額 概 觀
銀行會社近況	國際商品情報	通商貿易情報	海外貿易情報	滿支貿易情報	國內貿易情報	國外貿易情報	國際貿易情報	銀行會社近況	統計	定額
財政、金融、貿易統計	商品集數、關稅、高	金利、爲替、西出相場	一年分前金(郵電)	十四圓五錢	一部三十錢	送付一錢	見本 郵券三種封入御中			

露光量違いにより重複撮影

國際經濟

報 週

六月一日號

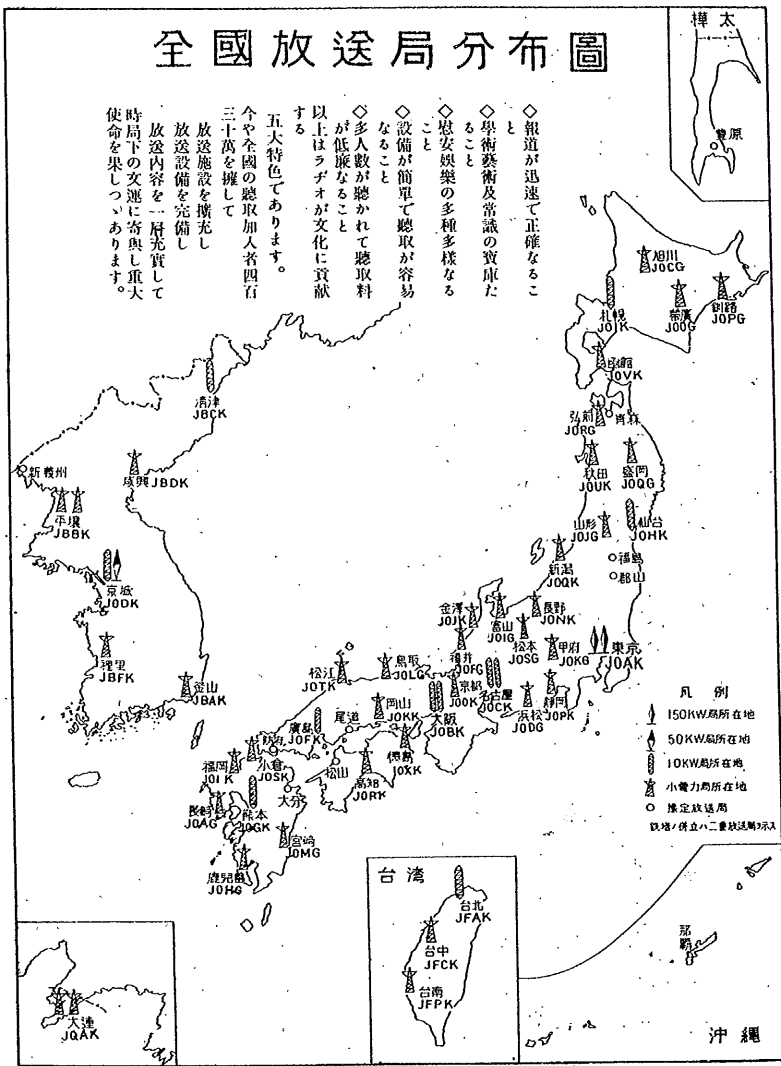
イギリスの危機豫算の全貌
イギリス財政の新段階
サイモン蔵相の豫算演説
本年度豫算の大綱
本年度物資動員計畫成る
活況を呈する最近の起債界
蒙 疆 政 權 の 動 向
ドイツの労働奉仕義務の擴張
戦争の場合アメリカ経済はどうなる

行 設
東京市京橋區銀座西八ノ九
電話 銀座(電)三九七五
報 社 口 座 東京八五〇〇番

法人 同盟通信社

見本	郵券二種目入印申付
定 額	一部 三十錢
統計	銀行 會社 近況
通商	貿易 情報
海外	ニニニニ
國內	ニニニニ
海内	ニニニニ
國際	商品 情報
內 外	市 況
國內	概 觀
海外	概 觀

全國放送局分布圖



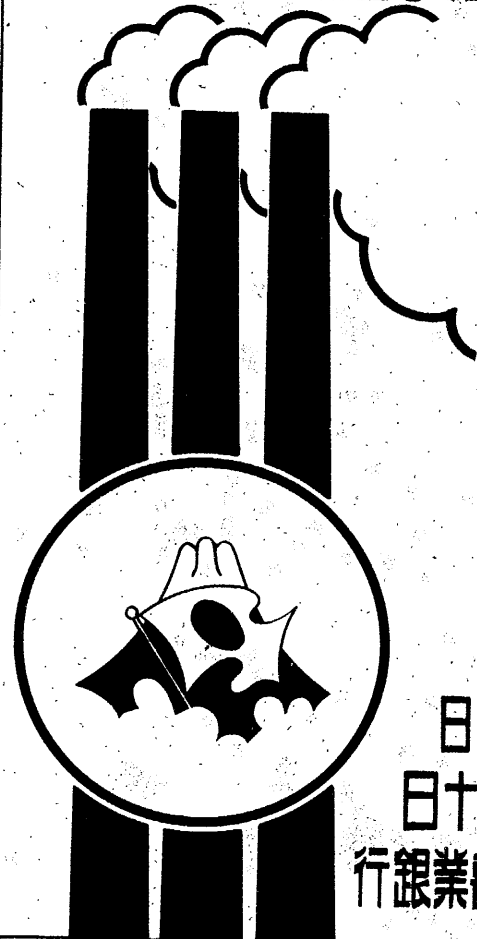
○報道が迅速で正確なること
○學術藝術及常識の資材た
ること
○慰安娯樂の多種多様な
ること
○設備が簡單で聴取が容易
なること
○多人数が聴かれて聴取料
が低廉なること
以上はラジオが文化に貢献
する
五大特色であります。
今や全國の聴取加入者四百
三十萬を擁して
放送設備を擴充し
放送内容を一層充實して
時局下の文運に寄與し重大
使命を果しつつあります。

露光量違いにより重複撮影

週報

昭和十二年六月十七日
（普通）回水曜日發行

支那事變貯蓄債券



一枚四十圓
 賣出六月十五日
 三十三日
 大藏省・日本勸業銀行

(判LA51格規定國はさ大の書本)

内閣印刷局印刷發行